

＜日商簿記1級商業簿記ミニテスト ソフトウェア＞ 問題

次の資料にもとづいて、問に答えなさい。

(1)×1年度期首に、市場販売目的のソフトウェアの製作費 3,000,000 円を無形固定資産として計上した。当該ソフトウェアの見込有効期間は3年であり、有効期間は3年であり、有効期間の変更はなかった。ソフトウェアの償却は見込販売数量にもとづいて行うこと。

	1年度	2年度	3年度
見込販売数量（期首以降）	15,000	9,500	3,000
実際販売数量	5,500	4,000	2,200

※3年度期首の見込販売量の変更は新たに入手した資料による

※見込み販売収益が未償却残高を下回る状況は起こっていない

＜問＞各年度の償却費を計算しなさい。

	償却費
1年度	1,100,000
2年度	950,000
3年度	950,000

※解説→各年度、帳簿価額÷残存耐用年数との比較を行うこと